

市の人口

259,341人

男=131,217人

女=128,124人

一世帯数

出生 292 死亡 64 転入 1,035

77,244 転出 939

前月比 +324人 +108世帯

10月1日現在

10/25

昭和56年

No. 537

広報

川越

■発行所 川越市役所

■電話 川越(0492)24-8811(代)

■発行人 川越市長 川合喜一

■編集 企画財政部企画課



シンボルマーク…二人の人間が連帯して手を取り合い、平等の立場から互いに支えあつてゐる姿を表現。

シリーズ
がんばって
マス ⑪

「友だちと一緒に旅行へ出かけたり、カラオケで歌うのが大好き。そして『お酒、もチョッピリ……ネ』という浅利鈴子さん(42歳)。通町のアパートから、大手町にある勤務先の縫製工場まで、約1kmの道のりを毎日歩行通勤しています。洋裁学校を卒業し、師範の資格を持つ浅利さんは大のハリキリ屋さん。自分で選んだ洋裁の道を進むかたわら、「いろんなことをやってみたい」という持ち前のチャレンジ精神を遺憾なく発揮。今は週一回の『書の道』をとおして、自らをより一層厳しく鍛錬すべくがんばっています。

表通り裏通りの主役はあなたです。『我が家・我が街・我が家暮らし』を言葉に、あなたの情報がこのページを作ります。

広報川越をいつも楽しく見ていたことがあります。先日こんなことがありました……。

市川素子
(35歳・主婦)
大塚新田219-11

出合いと反省



若い主婦に籐工芸が人気

手作りの楽しさをあなたも、と脇田新町の婦人会館で開かれていた「籐工芸教室」がすごい人気だった。10月12日まで5回にわたって開かれたこの教室、若い主婦を中心に、午前、午後、夜の3部を合わせ120人が受講。教室終了後、さっそくクラブが誕生した。



これも安いわよ。

川越って好き? or 嫌い?
ご意見を求む

来年12月1日で市制施行60周年を迎えるとしている川越市。私達を乗せた「川越丸」は、また新たな航海に旅立つ……。そこで今皆さんに

問い合わせたい、「あなたにとって川越は?」——果たして好きなのか、嫌いなのか、あなたの本音を聞かせて欲しい。これからの方々を占う意味で、皆さんどしどしご意見をお寄せください。

<表裏、編集部>

のバスは今福中台行ですよ」といふる本川越駅前でバスを待つてありますと、目の不自由な方がつたしてあります。児童の母親です。

お勤め帰りの方が多い夕方、雨のふる本川越駅前でバスを待つてありますと、目の不自由な方がつたしてあります。児童の母親です。

「ほつ」としました。この時バス

が到着したとき、「お子さん

がいる」とおっしゃったと

連れての買い物帰りに出合ったと

いうこの出来事、市川さんは「中

年の男の方でしたが、目の不自由な方が困っている姿を目のあたりにして何とかともやるせない気持になりました」と投書の理由

でありますと、目の不自由な

方でありますと、目の不自由な

</div

広報川越

昭和56年10月25日発行

と
き
11月4日(水)
午後1時
30分
4
日(火)
24
午後1時
30分
4
時(4日間で1コースです)
17保健センターで
妊婦教室

申
経
定
員
費
料
申
込
10月29日(木)
午前9時
から
ら保健センターへ(電話可)
※母子健康手帳と筆記具をお忘れ
なく。

◆時間…午後1時30分～2時30分	
月	日
11.12(木)	大東公民館
11.12(木)	山田公民館
11.13(金)	市民会館
11.17(火)	福原公民館
11.17(火)	南古谷公民館
11.18(水)	保健センター
11.19(木)	高階公民館
11.20(金)	名細公民館
11.20(金)	芳野公民館
11.24(火)	高階南公民館
11.24(火)	霞ヶ関公民館
11.25(木)	南公民館
11.26(木)	霞ヶ関北公民館
11.26(木)	古谷公民館

※各会場とも駐車場はありません。
お車での来場はご遠慮ください。

注意

小児マビ 生ワクチン 投与の日程

衛生課

昭和56年度下期の小児マビ(ボリオ)予防生ワクチンの投与を左表の日程で行います。個人あての通知はありませんが、該当するお子さんをお持ちの方は忘れずに最寄りの会場へ。

※4歳未満でまだ2回投与を受けないお子さんもこの機会に受けてください。

▽1回目投与の該当児 昭和56年1月1日～6月30日に生まれたお子さん

▽2回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31日に生まれ、前回に1回目の投与を受けたお子さん

▽3回目投与の該当児 昭和55年1月1日～6月30日に生まれたお子さん

▽4回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽5回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽6回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽7回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽8回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽9回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽10回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽11回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽12回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽13回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽14回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽15回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽16回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽17回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽18回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽19回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽20回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽21回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽22回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽23回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽24回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽25回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽26回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽27回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽28回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽29回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽30回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽31回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽32回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽33回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽34回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽35回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽36回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽37回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽38回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽39回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽40回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽41回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽42回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽43回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽44回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽45回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽46回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽47回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽48回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽49回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽50回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽51回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽52回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽53回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽54回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽55回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽56回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽57回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽58回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽59回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽60回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽61回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽62回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽63回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽64回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽65回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽66回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽67回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽68回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽69回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽70回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽71回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽72回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽73回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽74回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽75回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽76回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽77回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽78回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽79回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽80回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽81回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽82回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽83回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽84回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽85回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽86回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽87回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽88回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽89回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽90回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽91回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽92回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽93回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽94回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽95回目投与の該当児 昭和55年7月1日～12月31年に生まれたお子さん

▽96回目投与の該当

ほくらの作文

朝、運動会の用意をしながら私は、もうドキドキしていた。それは、百メートル走があつたからだ。学校に来てもドキドキ。運動会の始まりを待つてはいる時もドキドキ。

「う」と心の中で思っていた。そしてスタート。走っている時、「負けるものか、負けるものか」と思つていた。応援してくれているみんなの声が聞こえないくらいいつしようけんめい走つた。そして結果は、三位。私は、くやしかつた。いつになつてもドキドキという音は、やまなかつた。私は、運動会はとつても好きだけれども百メートル走は、何回やつても好きにはなれなかつたのだ。大入りたいと思つていた。「無理に決まつている」とあきらめていたために百メートル走は後回し。「あ。よかつた。」と私は、ほとつとしていた。けれども天気がだんだんよくなるにつれて運動場もかわいてきた。そしてとうとう五年生の百メートル走が始まつた。私は、前よりもドキドキが大きくなつたよう感じた。するとおばあちゃんが私の頭をなでながら「清美、がんばれよ。おばあちゃん見てるからな。」とやさしく言つてくれた。私は、「うん。だけどみんなとしゃべつていたらもう男の子が終わつてしまつた。今度は自分に言いきかせた。とうとう自分の番だ。「がんばろう。一位をとろう。」と心の中で思つていた。そしてスタート。走つてある時、「負けるものか、負けるものか」と思つていた。応援してくれているみんなの声が聞こえないくらいいつしようけんめい走つた。そして結果は、三位。私は、くやしかつた。

運動会

名細小6年 田 清 美



応援してくれたお母さんやおばあちゃん達に悪いことをしてしまつた感じがした。そしてゆっくりとおばあちゃんの所に行くと「よくがんばったな。」と言つてくれた。私は、「おばあちゃんありがとうございます。」と心の中で言うと自分の席にもどつた。けれども、自分で、「いつしようけんめいやつたのだ。何分かしておあちゃんありがとうございます。」とくりを私にくれた。

「ありがとう。」といつてもらうとおばあちゃんが私にいつた。「清美、速かつたな。もう少しがんばれば、一位になつたかもしれないな。」と言つた。私は、「うん。だけどみんなが走つたからな。」といつてくれた。もう私達は、六年生。今年が最後の運動会だ。今でも応援してくれたみんなの歓声が聞こえてくる。

市民会館11月の主な催し物の予定

(10月8日現在、ホールのみ)

曜日	催し	入場方法	開演時間	主催者
1 (日)	市民文化祭「吹奏楽のつどい」 市民文化祭「合唱祭」	無料	AM 9:30 PM 1:30	中央公民館 ☎22-1394
3(祝) 5(木) 8(日)	川越市美術展		AM 10:00	市教委社会教育課 ☎24-8811 (内線313)
3(祝) 5(木) 8(日)	市民文化祭「邦楽のつどい」 市民文化祭「民謡のつどい」 市民文化祭「芸能のつどい」 市民文化祭「祭ばやしのつどい」	無料	AM 10:00 AM 9:30 AM 10:00 PM 1:00	中央公民館 ☎22-1394
9 (月)	民族歌舞団 わらび座公演 「歌舞構成」沖縄、他		入場券 <前売> 一般 2,300円 学生 2,000円 高年生 1,700円 少々 1,300円 <当日券> 各 300円高	
12(木) 13(金)	市民文化祭「音楽祭」		AM 9:30	中央公民館 ☎22-1394
13(金)	市民スキー映画の夕べ		整理券	PM 6:00
22(日)	石川須女子舞踊学園埼玉支部パレエ合同発表会	無料	PM 3:00	同舞踊学園 ☎44-0752(松崎)
26(木)	初代浜田喜一 一門会	入場券 2,800円	PM 6:30	関東民音 ☎0488-29-2635
28(土)	星野女子高校吹奏楽部・バトン部第11回定期演奏会	入場券 200円	PM 2:10	同校インタークアブ ☎22-4488
29(日)	自然食と美を求める集い	無料	PM 1:00	株式会社カゼネラル ☎25-2416

△主にどなたでも入場できるものを掲載しました。

△主催者の都合で、一部変更になる場合もあります。

△入場券等の申し込みや問い合わせは、それぞれの主催者あてにお願いします。

△⑩=高校生、⑨=中学生、⑧=小学生。

△来年4月中の市民会館使用申し込みは、11月1日(日)の午前9時からお受けし

ます。くわしくは市民会館(郭町1-18-7、☎22-4678)へ。

鐘の音にのせて

歴史シリーズ④



昭和二十七年九月、芳野地区下老袋。おりから

誕生から現代のこの瞬間までを割

ると、一秒は約二十三年に相当します。——私達の人生はなんとはかないものではありません。人類の台風に浸透された入間川の土手に出現した丸木舟。入間大橋の上流約三百㍍の入間川左岸の沖積地から出土した「あ。奇妙な物体」が、後に考古学者の貴重な資料だと知つて、関係者ばかりでなく市民みんなが驚いたものでした。

このシリーズのスタートにあたり私達は、川越に住んだ人類のルーツに「川越原人」とニックネームをつけています。繩文後期のこの舟、

川越原人』の暮らし

舟とともに泥炭層からバス

オニグルミ、ヒシなどの木の実、草の実も発見され、川越原人の自然環境や生活がしのばれます。

「繩文人」になくてはならぬものは、木の実と台地と水に草原。今、霞ヶ関地区内を流れる小川の岸辺

はスキが盛りです。市内では人口増の激しいこの地域、繩文時代

の遺跡も比較的多く分布。土手にさかのぼります。繩文中期、埼玉県内では人口増加がみられます。裏付けはあまりないですが、考古学関係者は、これは燃烟農業の出現だろうと推定しています。そしてこれが、稻作文化に代表される、人類の黎明、弥生文化の波へと連なるつてわけです。



県指定の考古資料と

して、郭町二丁目の本丸御殿に陳列され

ていますが、これを

みると全長五・四㍍、

最大幅五十四㌢。材質は榧の木で、舟底

が部分的に炭化して

いるのは、焼

いてくりぬく技法を示して

います。繩文後期のこの舟、

寝ころぶ、思いは川越原人へと

さかのぼります。

繩文中期、埼玉県内では人口増

加がみられます。裏付けはあまり

ないですが、考古学関係者は、

これは燃烟農業の出現だろうと推

定しています。そしてこれが、稻

作文化に代表される、人類の黎明、

弥生文化の波へと連なるつていく

わけです。

下老袋で発見された丸木舟